

こまえ市議会だより

粕江のギカイを身近に。



Gikai Guide
[ギカイガイド]



粕江駅前イルミネーション



粕江・多摩川花火大会



泉龍寺紅葉ライトアップ



特集

粕江の魅力発見

粕江市観光協会会長に話を伺いました

議案審議

■ こんなことを決めました

令和6年度一般会計決算審議結果

■ みんなのお金の使い道



狛江市観光協会会長・東野川在住

藤田 克彦さん

狛江五小・一中・東京農大卒業
藤田不動産㈱ 代表取締役
狛江市空家等対策推進協議会 副会長
趣味：バイクツーリング・読書・プロ野球観戦など

狛江市観光協会とは？

狛江の地域資源を中心とした観光事業の振興を図り、併せて産業の発展と文化の向上を目的に狛江の観光資源の開発・普及や観光事業を実施しています。主に、市内観光情報の発信や花火大会・泉龍寺の紅葉ライトアップ・狛江駅前イルミネーション等の実施、多摩川いかだレース・狛江フェスティバル等への支援を行っています。



観光協会公式HP



公式 YouTube



公式 X



公式 Instagram

狛江市観光協会会長

藤田 克彦さん



特集

狛江の魅力発見

狛江市観光協会会長に

話を伺いました！

はじめにこれまでの主な取組について伺います。

藤田 一番大きな事業はやはり花火大会の主催ですね。それ以外にも泉龍寺の紅葉ライトアップ、狛江駅前イルミネーションやロケ誘致等に取り組み、今は多摩川大茶会の実施に向けて準備しています。また狛江古代カップ多摩川いかだレース、狛江フェスティバルの共催、狛江市民まつりへの後援、こまえ桜まつり、能楽鑑賞会への協力をしています。

花火大会は市内外から来場があり、大きな賑わいをつくっています。花火大会への思いについて伺います。

藤田 皆さんに喜びと感動をお届けしたい、特に子どもたちにとって満点の思い出になるような花火大会にしたいとの思いで実行委員の皆さんと取り組んできました。多くの方々から「次はいつですか」と質問をいただき、物価高騰や警備員確保など様々な課題があるので、毎年開催はできませんが、多くの期待と、皆さんの思いを安全に実現させるためにも狛江市と協力したいと考えています。

今後、力を入れたいと考えていることを教えてください。

藤田 観光協会の役回りとして、狛江市民にはもちろんのこと、市外の方々にも狛江市の魅力を感じてもらいたいと考えています。狛江市は6.39kmという小さい市域に加え、平坦な地形ということもあり、本当に自転車で行きやすいんですよ。ですので、駅前などにシェアサイクルの台数をもっと増やし、シェアサイクルを利用して市外から来られた方にも、狛江市内の観光スポットや商店を、自転車でも回ってもらえるような仕組みができないか試案中です。また、市民の皆さんから一押しスポットを教えてください。ただ、地図に落とし込んで、それを持って回ってもらう、ということも良いかなと考えています。さらに観光協会のファンとも言えるべき、会員を増やす取組も考え、多くの方と一緒に事業に取り組んでいきたいと考えています。

最後に一言。

藤田 これから泉龍寺の紅葉ライトアップや狛江駅前イルミネーションが始まりますので、ぜひ多くの方に足を運んでいただきたいと思っています。

我々市議会としても、狛江の魅力発信に努め、狛江市観光協会が行う事業が素晴らしいものとして実現できるように、様々な角度からご協力いたします。本日はありがとうございました。

伊豆美神社の鳥居

参道の入口に建つ小振りの石造鳥居は慶安4年(1651)に、2代将軍徳川秀忠・3代将軍徳川家光に仕え、江戸町奉行も勤めた旗本である石谷貞清によって奉納されました。江戸時代初期に造られた石造鳥居は都内でも数が少なく、その中でも伊豆美神社の鳥居は最古級の大変貴重なもので市の文化財に指定されています。



議員提出第1号 介護・障がい福祉サービス等報酬の引き上げ等を求める意見書

介護・障がい福祉サービス等報酬の 引き上げ等を求める意見書が出されました

物価高騰や人件費の上昇により経営がひっ迫している介護・障がい福祉事業所の現状や昨年度の訪問介護事業所の基本報酬引き下げを受けて、介護・障がいサービス提供体制の維持・拡充のため介護・障がい福祉サービス等報酬の引き上げ等を国に求めるものです。1人の議員から賛成討論のあと、賛成全員で原案可決となりました。

狛江市議会は政府等に対し、介護・障がい福祉のサービス提供体制の維持・拡充のため、以下の事項を速やかに実施するよう強く求めるものである。

記

- 1 2026年4月に介護報酬、障がい福祉サービス等報酬の期中改定を行い、それぞれの報酬を引き上げること。
- 2 物価高騰に加え、今年度の最低賃金額改定の目安が過去最高額となったことを踏まえ、速やかに、介護・障がい福祉事業所が最低賃金の引き上げ等に対応できるよう支援すること。
- 3 訪問介護については、速やかに事業者へ支援金を支給するとともに、2026年4月の期中改定で基本報酬を引き上げること。
- 4 介護・障がい福祉従事者の賃金を全産業平均の水準へ引き上げる方策を検討すること。

意見書より抜粋

こんな賛成意見がありました

昨年度、政府が訪問介護の基本報酬を引き下げたことから、介護人材の不足や事業所の閉鎖が進んでいる。地方では訪問介護事業所が「ゼロ」あるいは「残り1」という自治体も増え、保険料や利用料を支払ってもサービスが受けられないという危機的状況である。介護・障がい福祉従事者の賃金は全産業平均と比べ未だ低い状況であり、物価高騰のなか、介護・障がい福祉従事者を確保するには賃金を速やかに全産業平均まで引き上げることが急務である。



こんなことを 決めました

議案審議

令和7年第3回定例会は8月27日（水）から10月6日（月）までの41日間行いました。提出された議案・陳情等は計27件で、慎重に審議しました。

※結果の詳細については7ページの議案と結果をご確認ください。

8月27日
定例会初日



10月6日
定例会最終日



市長提出議案…24件

委員会提出議案…1件

議員提出議案…1件

陳情……………1件

▶今号ではこの中から3つをPICK UPします。



陳情第20号 国に対し、紙の健康保険証を復活させ、
マイナ保険証の両立を求める意見書の提出を求める陳情

紙の健康保険証を復活させ、 マイナ保険証の両立を国に求める陳情がありました

令和6年12月2日の健康保険証発行終了により、資格確認書と資格情報のお知らせが発行されていますが、改めて紙の健康保険証を復活させ、マイナ保険証との両立を求めるよう国に要請を求める陳情が出されました。

1人の議員から賛成討論、3人の議員から反対討論がありました。賛成少数により不採択となりました。

こんな意見がありました

賛成 5月に全国保険医団体連合会が実施したマイナ保険証実態調査では、回答した医療機関の約9割でトラブル経験の報告があった。医療現場からも保険証の復活を求める意見があり、本陳情と一致している。厚労省は従来型の健康保険証での受診を来年3月末まで認める方針を通知したが、継続的に使用できるようにすべき。

反対 マイナンバーカードとマイナ保険証は社会全体の生産性を高める基盤である。紙の保険証を復活させることは行政手続の二重化となる。

議案と結果

付託先略称

即決：本会議即決 総務：総務文教常任委員会
決算：決算特別委員会 社会：社会常任委員会

全会一致の議案等

| 付託先 | 件名 | 結果 | 付託先 | 件名 | 結果 |
|-----|---|------|-----|--|----------|
| 即決 | 令和7年度狛江市一般会計補正予算(第3号) | 原案可決 | 即決 | 市民センター改修工事(建築工事)請負契約の変更について | 原案可決 |
| 即決 | 令和7年度狛江市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 | 即決 | 新図書館書架等備品(製作家具)の購入契約について | 原案可決 |
| 即決 | 令和7年度狛江市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 | 即決 | 狛江市立小・中学校学習用タブレットの購入契約について | 原案可決 |
| 即決 | 令和7年度狛江市介護保険特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 | 即決 | 狛江市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて | 同意 |
| 即決 | 令和7年度狛江市駐車場事業特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 | 総務 | 狛江市公告式条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 即決 | 狛江市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | 決算 | 令和6年度狛江市駐車場事業特別会計決算の認定について | 認定 |
| 即決 | 狛江市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | 決算 | 令和6年度狛江市下水道事業会計利益剰余金の処分及び決算の認定について | 原案可決及び認定 |
| 即決 | 国家公務員等の旅費に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 | 原案可決 | 即決 | 狛江市子育て・教育支援複合施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 即決 | 狛江市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | 即決 | 新図書館書架等備品(集密書架)の購入契約について | 原案可決 |
| 即決 | 狛江市乳幼児の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例 | 原案可決 | 即決 | 狛江市議会会議規則の読点の表記を改める規則 | 原案可決 |
| 即決 | 狛江市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | 即決 | 介護・障がい福祉サービス等報酬の引き上げ等を求める意見書 | 原案可決 |

[○賛成 ×反対]

| 賛否がわかれた議案の○×結果 | 付託先 | 会派名/名前 | | | | | | | | | | | | | | | | 議決結果 | | | | | | |
|---|-----|-------------|-------|--------|-------|--------|--------|-------------|-------|------|-----------|-------|-------|------------------|--------|-------|-------|--------|---------|--------|--------|--------|-------|-----|
| | | 自由民主党・明政クラブ | | | | | | 日本共産党 狛江市議団 | | | 狛江市議会 公明党 | | | 分りやすい政治を伝える・維新の会 | | 無会派 | | | | | | | | |
| | | 三角 たいひさ | 小木 哲朗 | 山田 みちこ | しの 浩司 | 太田 久美子 | 辻村 ともこ | 谷田部 かずゆき | 栗山 欽行 | 石井 功 | 荒木 てつ | 岡村 しん | 宮坂 良子 | 西村 あつ子 | 小野 寺克己 | 石川 和広 | 山田 幸子 | 佐々木 貴史 | きたみ まさし | 三宅 まこと | ひらい 里美 | 高木 さとこ | 吉野 芳子 | |
| 令和7年度狛江市一般会計補正予算(第3号)の編成替えを求める動議 | 即決 | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | ○ | × | × | 否決 |
| 国に対し、紙の健康保険証を復活させ、マイナ保険証の両立を求める意見書の提出を求める陳情 | 社会 | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | ○ | × | ○ | 不採択 |
| 令和6年度狛江市一般会計決算の認定について | 決算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 認定 |
| 令和6年度狛江市国民健康保険特別会計決算の認定について | 決算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 認定 |
| 令和6年度狛江市後期高齢者医療特別会計決算の認定について | 決算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 |
| 令和6年度狛江市介護保険特別会計決算の認定について | 決算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 |

PICK UP 3

議案第47号 令和7年度狛江市一般会計補正予算(第3号)

令和7年度一般会計補正予算(第3号)が全会一致で決まりました

(仮称)西和泉スポーツ施設新築工事に向けた基本設計などの実施や、未来を担う狛江の子どものため、魅力ある学校づくりの推進に関する論点を整理するための連絡協議会の設置に伴う費用が計上されています。

また、物価高対策として、社会福祉施設や医療機関、農業者への支援を市独自に実施するための経費や、小・中学校の給食材料費の増額が計上されました。

そのほか、高齢者のデジタルデバインド解消に向けた取組として、スマートフォンを所有・使用したことのない高齢者に対し、購入費助成や、スマホ教室の受講支援などの推進費が計上された補正予算が成立しました。

原案に対し、編成替えの動議が提出されましたが、賛成少数により否決となりました。

質疑応答

- Q** 物価高対策社会福祉施設等応援給付事業の詳細は。
- A** 物価高騰の影響を受けている社会福祉施設等への支援とし、市内において令和7年7月1日時点で障がいまたは高齢・介護等に係る各法令等に基づく指定、許可、届出等をしている事業者に対し、10万円を給付するもの。
- Q** 魅力ある学校づくり推進連絡協議会について、協議内容や成果はどのように市民に公表する予定か。
- A** 一部のデータを除き市民の傍聴を可能とし、資料、議事録を公開する予定。
- Q** (仮称)西和泉スポーツ施設について、子ども目線で利用できるような施設の配慮、遊具は考慮されるのか。
- A** 多世代がスポーツを楽しむことができる施設として整備する計画。子どもの健全な成長を促進する一助としてオプスタクルボックスの設置を検討。

オプスタクルボックス ※イメージ



東京都目黒区 中目黒GT施設内 令和7年5月25日イベント時写真

みんなのお金について

議論しました

7人の議員が
一般会計決算について
討論を行いました。

市長のリーダーシップと市職員の努力を評価し認定

日本社会はいま、急速な人口減少と高齢化の進行という歴史的転換点にある。令和6年はコロナ禍を克服し、デジタル化の浸透による新たな生活様式が定着した年であり、社会構造が大きく変化した。同時に社会保障費の増大が財政を圧迫し、狛江市においても公共施設再編が避けられず、戦略的な行財政運営が最重要課題である。

令和6年度決算は、歳入約379億円、歳出約364億円、一般会計実質収支約11億円の黒字で、4特別会計も黒字を確保した。市税徴収率は多摩26市中3年連続1位、基金残高は84億円へ増加、市債残高は10億円減少し、経常収支比率も多摩26市の順位は改善した。市税収入は133億円に達し、徴収率99.6%、経営努力割でも成果を上げた。健全な財政運営と将来負担抑制の取組は高く評価される。

今後は人口減少対策や公共施設再編、教育施策の充実が重要であり、「公共の精神」や「国を愛する心」を育む教育、人づくりに注力すべきである。財政規律を守りつつ必要な投資を進め、「稼ぐ自治体」としてワイズスペンディングを徹底することが、持続可能な狛江の発展に不可欠である。日本列島を強く豊かにする為に、日本を構成する一自治体としての役割を果たしてもらいたい。

松原市長公約も自由民主党・明政クラブの要望を多く取り入れ大きな成果を上げられたことも高く評価し、本決算を認定する。



辻村 ともこ
自由民主党・明政クラブ

11億円の黒字。 更なる市民生活支援が可能だった

法人市民税、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金は伸びており企業や個人の収入増の一方、生活不安を抱える人は多く貧富の格差がますます生じている。

学校給食費無償化の通年実施、中学生の医療費助成制度の所得制限撤廃や補聴器購入助成、住民税非課税世帯で均等割のみ課税世帯への支援等は評価するが、昨年度11億6,580万円の黒字であり、財政状況を鑑み更なる市民生活支援ができたと思う。

中央図書館の分割・移転をめぐる住民投票を求める署名活動が実施され、臨時議会で中央図書館のあり方に関する住民投票条例制定の議案が提案された。中央図書館は現在地での拡充を前提に市と市民の協働が進められてきた。市民アンケートでも現在地での拡充が前提だったが、令和2年8月に中央図書館の分割・移転方針が出された。市民に意見を聞くことなく決定され、市民参加と市民協働の推進に関する基本条例に則った手続きがされていないと問題にしてきた。ところが今年7月、条例解釈が変更され「市民参加が必要とされているものは公の施設に関する運営や整備手法、利用方法に係る計画等で設置自体には含まれない」とされた。市民参加の手続きをとらなかった事を正当化するために解釈変更したと考える。そうした姿勢はこれまで積み上げてきた市民参加と市民協働を後退させたと言わざるを得ない。以上から不認定とする。

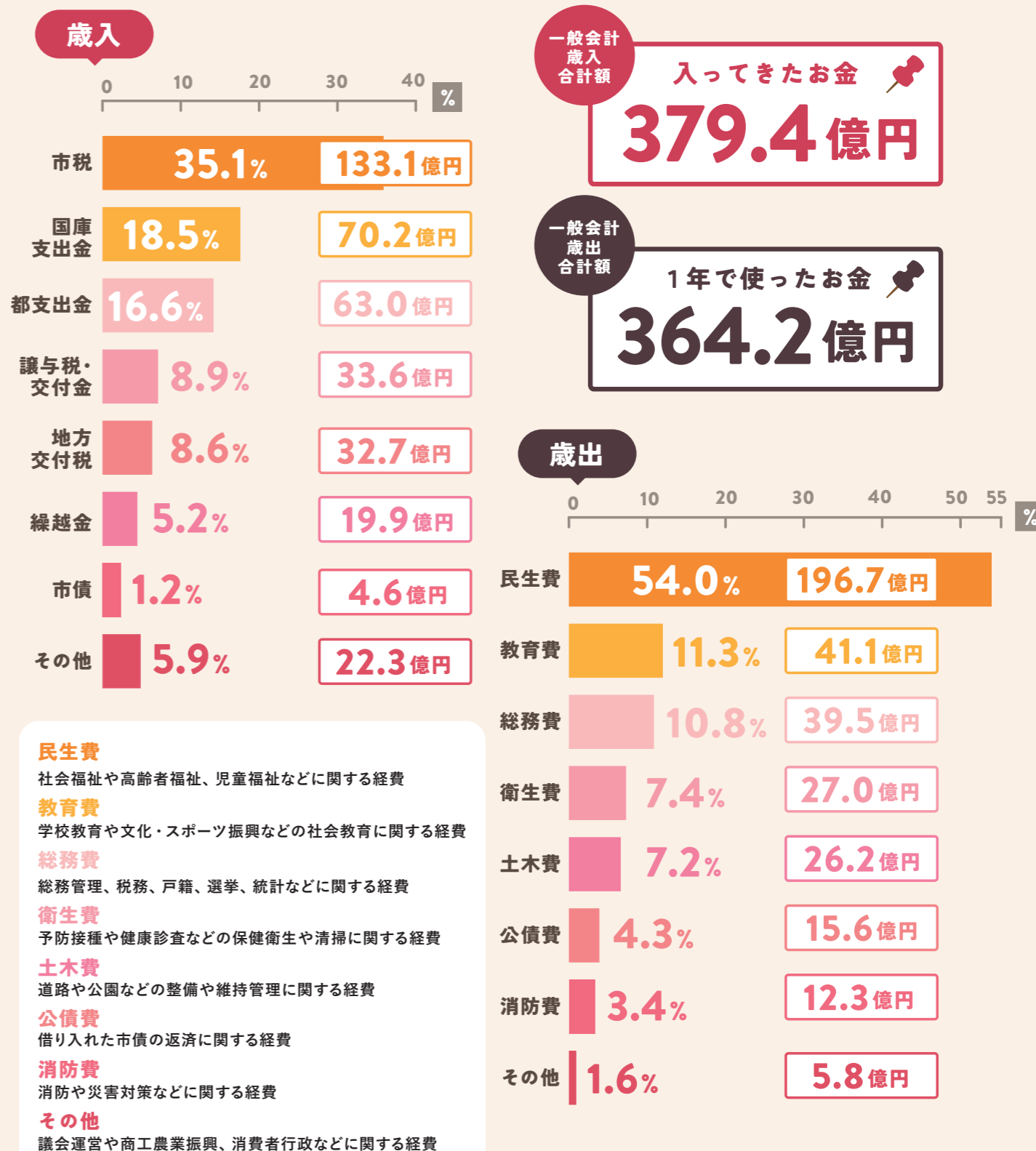


西村 あつ子
日本共産党狛江市議員

どうなった？ みんなのお金の“使い道”

令和6年度一般会計決算審議結果

9月24・25・26日の3日間、議長と監査委員を除いた議員全員で決算特別委員会を開催し、慎重に審査を行いました。令和6年度は、狛江駅周辺のリニューアル工事や市民センターの大規模改修といったまちの賑わいの創出や、物価高騰対策、子育てしやすいまちづくり、防災カタログ事業をはじめとした災害対策を推進しました。本決算は黒字となり、各決算は認定されました。





討論全体については
二次元コードから議会中継
(令和7年第3回定例会
10月6日本会議32分20秒から)
をご参照ください。

議論しました

みんなのお金について



「ともに創るまち」の形骸化を懸念し、 決算不認定

財政健全化やDX推進は評価するが、市民参加の後退と基本理念の形骸化、少数者への視点の欠如を懸念する。

特に、条例改正を経ずに公共施設の設置を市民参加の対象から除外した「考え方」の変更は、市民の信頼を揺るがす重大な問題である。公共施設の廃止や学校統廃合などの決定が行政と議会の多数決で容易になり、「ともに創るまち」の形骸化を招く恐れがある。

また、「音楽の街」施策における音楽団体激減への認識不足と対策の遅れ、広報誌が届かない人々や公共交通利用が困難な障がい者支援など少数者への視点の欠如等、市民の「信頼を取り戻す」道筋から外れている。そのため、本決算を不認定とする。



ひらい 里美
無会派

まちのにぎわいや交流を生む取組で 価値共創・価値再発見

防災の取組では、多摩川堤防決壊50年や能登半島地震を踏まえた啓発活動を通じ、劇場型の総合水防訓練や若い世代向けの啓発イベントなどで、市民一人ひとりの防災力向上につながった。「何らかの備えをしている市民の割合」は目標を大きく超える75.0%に達し防災意識が高まり、浸水対策も着実に前進している。

子育て支援では、子ども家庭センターが開設され、切れ目のない支援体制が整い、実効性が向上。特に、公明党の強い要望により、学校給食費の無償化と義務教育就学児の医療費助成の所得制限撤廃が実現し、子育て家庭の経済的負担が大きく軽減された。

環境分野では、次世代の環境意識育成や再生可能エネルギー導入が進められた。財政健全化も着実に進み、過去10年で市債残高を50億円減額できたのは多摩地域の類似団体の中でも狛江市だけであり成果は顕著である。狛江駅周辺の「ほこみち」事業などを推進し、まちのにぎわいと新しい価値の創出につながっている。

令和6年度決算は、市民生活の安心・安全、子育て支援の充実、環境への挑戦、健全な財政運営の面から市民のために着実な前進を遂げた1年となった。狛江市議会公明党は、松原市長と共に「人にやさしいまちづくり」を進め、市民の皆様が安心して暮らせるよう取り組む決意を申し上げ、本決算を認定とする。



小野寺 克己
狛江市議会公明党

子どもが主体的に育つ体験を保障する 継続的な予算を

上昇傾向の物価と人件費の影響が自治体に与える影響は大きくなっている。そのような令和6年度、他自治体も財政運営に苦闘する中、狛江市は財政構造の弾力化を比較的維持し悪影響を抑制した。一方、社会保障費は増加、その9割を占める経常経費も増加傾向で、人口減少による税収減は不安材料。

しかし、長年抑制してきた臨時財政対策債発行額分が将来、貴重な財源として機能することが明らかに。非正規職員の賃金増に配慮し格差是正を。今後、小中学生宿泊学習への補助額の増額等、子どもが主体的に育つ体験を等しく支える予算に期待。また、にぎわいづくりは本質的な課題を解決する市民のまちづくり育成を目的とするものに。



高木 さとこ
無会派

財政健全化、DX推進により持続可能な市政運営実現を

①財政健全化の視点では、基金残高と市債残高は10年前と比較し大幅改善。一方で経常収支比率は87.5%で人件費・扶助費の増加を主要因とし上昇傾向にある。子育て支援では学童保育所の定員を80人拡大、学校給食費無償化により約2億5千万円の負担軽減を実現。高齢者向けサービスも見守り活動等で充実が図られた。②DX推進の観点からは、LoGoフォーム活用により約2,000件のフォーム作成で業務効率化が進展。今後はスクラップ&ビルドの徹底、事業評価システム改善、公共施設適正配置など構造的課題への対応が急務。現状維持バイアスを乗り越え、持続可能な市政運営実現に向けた大胆な行財政改革を求めつつ、今までの流れを加速されたい。(きたみ)

①市職員のデザイン意識に言及。立案した事業をいかに市民に知っていただきたいかという意識の高まりを評価。②生成AI研修や「公務員AIマサルくん」導入により、職員の意識改革と業務効率化を推進。若手育成、管理職の支援型リーダーシップへの転換、市民との共創型行政の実現を通じて、AI時代に対応した自治体組織への改革を実現した取組として評価。③学校プールの民間施設活用試行により、今後の公共施設のあり方を考える上で重要な検証が行われたことを評価。(三宅)



きたみ まさし
分かりやすい政治を伝える
・維新の会

市民サービス向上と行政効率化を両立した内容を評価し、決算を認定。

価値観が多様化する中、 狛江らしい施策の展開を評価

市税総合徴収率は99.6%、3年連続で26市中1位、高い徴収率を評価。ニーズの多い市民相談の予約方法を拡充し利便性向上を図った。都市農地保全のための福祉農園等の発展的な取組、和泉多摩川かわまちづくり社会実験、「こども家庭センター」の役割に期待する。

2050年ゼロカーボンシティ実現に向け複数の自治体や事業者との協定締結、(仮称)駒井公園は実施設計の順調な進行を評価。障がい者基幹相談支援センターや障がい者の生活拠点「グループホームえだまめ」の設置は地域共生社会をめざす決意。多岐にわたる実効性ある若者支援が必要。高齢化率世界一に即した敬老事業に方向転換すべき。以上本決算を認定する。



吉野 芳子
無会派



自由民主党・明政クラブ

太田 久美子



誰一人取り残さない「がん対策」

質問 慈恵医大第三病院は、健康推進センターの機能として市の検診業務を引き受けるべきと思うが、市の見解は。

回答 精密検査を実施できる市内唯一の医療機関であり、がん一次検診の実施について、機を捉え依頼する。

市民の健康を守るために

質問 特定健診事務代行サービス導入により受診率が向上することから導入に取り組んでどうか、市の見解は。

回答 健診枠が広がる可能性があり、受診率向上が期待されるが、経費負担等も踏まえ調査研究したい。

マイナンバーカード普及促進について

質問 総務省はマイナンバーカード2025年問題*の対応策として郵便局の活用を提案している。市の見解は。

回答 現時点では考えていない。今後、窓口業務に支障が出る状況が生じた場合等には、改めて検討。



無会派

ひらい 里美



外国にルーツを持つ親子が孤立しない支援体制

質問 外国人住民増で未就学児が増えているが言葉や文化的背景が異なることから就学前の不安は大きい。就学前から就学後まで一貫した支援の必要性について伺う。

回答 就学前の親子が直面する課題として、言語の壁による孤立や学校生活への支障が挙げられる。特に日本語を家庭で使用しない場合、学習や情報理解に困難が生じるため、就学前から継続した支援が必要。

新市民センターを「情報ハブ拠点」に

質問 公民館利用団体の減少に「こまなび」*2廃止の影響が懸念されている。市民センターリニューアルにあたり、市民活動と学習活動の情報を一元的に集約し、広く市民への情報発信拠点としての整備を求める。

回答 こまみらいテラス開設に向け、関係部署で協議し、ポスターの掲示場所等を市民に分かりやすく工夫する等、連携して情報共有・発信する体制を整えていく。



自由民主党・明政クラブ

谷田部 かずゆき



愛する狛江、未来のために

質問 ①令和2年度、6年度の納税義務者数と全体所得金額は②令和2年度、6年度の一人当たりの所得金額と多摩26市の平均所得金額との差は③市独自施策「子育て世帯に対する親世帯近居等促進助成金」とは④市民要望である南口にリムジンバス誘致の進捗は⑤幅員が4mに満たない狭あい道路の状況と課題は⑥土地所有者等の負担を軽減出来るような制度が必要だが見解は。

回答 ①所得割・均等割がある方は令和2年度43,672人・約1,642億円、6年度42,332人・約1,806億円②狛江市の方が高い傾向③住宅取得または賃貸住宅や実家への引越し費用を20万円を限度に助成④周辺自治体の首長や関連機関との打ち合わせで課題も見えてきている⑤市道の内12kmが建替えの際に2m以上の後退が義務付けられた狭あい道路。良好な住環境の向上を図るうえで、拡幅整備の推進は重要⑥狭あい道路に接する土地所有者が市に土地の一部を寄付しやすくなる制度を検討。



自由民主党・明政クラブ

辻村 ともこ



「温泉まちづくり」パート2

質問 ①温泉の総合的効果は②医療費削減、予防医療に繋がるか③温泉熱利活用の有効性と課題は④学校跡地など用途地域が合わない場合の手続は⑤市長へ「温泉まちづくり」への検討を願う。

回答 ①公衆衛生向上、地域活性化②公衆衛生向上で効果が出る③熱源は有効、用途が左右される④用途地域等に沿った計画以外は原則不可⑤民間の計画があれば協力。

喜多見駅狛江市側改札口周辺まちづくりについて

質問 ①喜多見駅周辺の重要性は②対象商店街と積極的な支援は③調3・4・16号線事業進捗、今後は④岩戸町会要望「岩戸北地区防災公園設置」考えは⑤市長の「喜多見駅狛江市側改札口設置」考えは。

回答 ①地域交流拠点②2団体と連携・協働し検討③電中研前は来年度完了予定。岩戸北は用地確保中。岩戸南は未定④緑の拠点を計画⑤関係者と意見交換をしたい。



Q. 一般質問ってなあに？



議員から市への質問・提言です。

第3回定例会では、9月3日、4日、5日、8日の4日間にわたり21人の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。



二次元コードを読み込むと、各議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



無会派

吉野 芳子



防災を起点にしてまちづくりを進めよう

質問 ①過去の災害対応の検証の反映②家の一部を堅固にする耐震シェルターとは③東京都のキタコンDX*1に期待すること④防災を起点とするまちづくりの重要性。

回答 ①過去の災害当時の対応や課題を元に整理②家屋が倒壊しても空間を確保して命を守る装置③必要な情報の一元取得④予防策とあわせ重要性は認識。時々々の状況を踏まえ対策を進める。

誰もが生き生きと暮らせる地域をともに創る

質問 ①大阪市天王寺区「おうちでできる社会貢献」とは②社協が実施するおたのしみスローショッピングの目的③加入が増えるシルバー人材センターの躍進の秘訣。

回答 ①認知症理解促進につながるオレンジキャラバンの会によるなごみマップ*製作活動②一人での買い物困難な高齢者に対する外出機会や地域とのつながりの機会を創出③仲間意識醸成と独自事業等の工夫が魅力。



無会派

高木 さとこ



夏の酷暑を、今後確実に抑制する気候変動対策を

質問 ①民間提案の多摩川水力発電事業の経緯と結果は②公共施設でCO2排出量の多いガス空調が大半。今後どのような評価軸を取り入れるべきか③学校教室の遮熱対策の検討を④木陰を増やす政策に対し市の見解は。

回答 ①協議を進めたが治水を優先し計画を中止②CO2削減など、総合的な判断が必要③引続き学校と連携し対策を進める④路面温度上昇抑制等に有効な対策の一つ。

猛暑でも子どもの体力づくりができる対応を

質問 ①市民プール休場の来夏に二中プール開放日増の検討を②温暖化で子どもの外遊びが難しい現状へ見解は③夏休み中、学校体育館を子どもに個人開放できるか。

回答 ①二中プール開放実施を予定。日数は例年通り検討②屋内で体を動かすなど、継続して体を動かす体力向上の取組の推進が必要③学校の働き方改革を踏まえつつ、組織横断的に連携するとともに検討。



日本共産党 狛江市議員

岡村 しん



樹冠被覆率*(木陰)を増やし、住みよい狛江に

質問 ①樹冠被覆率の調査を行い、目標に盛り込むべき②北区のように、エアコン購入補助を市として行うべき。

回答 ①他自治体を参考に調査研究する②都に対し高齢者をはじめ広く市民に対するエアコン設置支援を要望。

狛江市として物価高対策を進めるために

質問 ①中小事業者へ直接支援が必要では②若い世代に向けて新たな支援策の検討を。

回答 ①商工会等と連携、商業振興プランを着実に進める②将来負担を十分に考慮し、国や都の動向を踏まえ研究。

バスの利便性向上と、外国人の人権を守るために

質問 ①以前より公共交通計画の策定を指摘。今後計画は作る予定か②条例に基づき差別を許さない決意と発信を。

回答 ①地域公共交通会議での議論を踏まえ検討②条例の理念のもと人権を守るやさしいまちの実現に取り組む。



日本共産党 狛江市議員

西村 あつ子



寄せられた市民要望について

質問 ①根川地区センターの投票所は遠い。多摩川保育園を借りられないか②小田急線高架下駐輪場が閉鎖された。新たな確保が必要③中和泉郵便局の一時閉鎖は大きな影響がある。再開に向け要請を。

回答 ①円滑な対応がしやすい市有施設を使用②市有地の駐輪場増設は困難。小田急電鉄と工事完了後の再開を協議③地域住民へのサービス低下につながらないように要請。

子どもに関わる環境整備について

質問 ①民間施設のプール指導②効果③安全対策④今後の拡大⑤熱中症対策⑥学校にウォータースタンド設置を⑦保育園のプールが中止された。開始時期の前倒し等、プール遊びの手だてを。

回答 ①⑦泳力向上など⑧事業者と改めて情報共有⑨指導のあり方を含め総合的に検討②⑦学校意向や経費面も踏まえ総合的に検討④体調への影響も考慮し、慎重に判断。



自由民主党・明政クラブ

しの 浩司



狛江市立学校の部活動の地域展開について

質問 ①部活動の地域展開に関する基本方針の詳細について②地域展開の定義とは③ゆるサークルとは④部活動再開、新たな部活動立ち上げのニーズへの対応は⑤部活動指導員雇用の財源確保が必要と考えるが対応は。

回答 ①各活動の意義に応じ単独部活動、合同部活動、地域での活動に区分し推進②国と同じ定義③地域での活動④コミュニティ・スクールで協議⑤都に補助拡大を要望するなど対応中。

安心安全について

質問 ①狛江市不当要求対応マニュアルを改定する予定はあるのか②市内学校において不審者侵入に対する対策は③校舎内での盗撮行為防止に向けた取組は。

回答 ①都条例等の内容を踏まえながら、現在全面改訂中②不審者対応訓練で教職員や子どもが身を守る行動をできるようにする③盗撮防止の環境作りと教職員は私的端末を教室に持ち込まない対応を継続実施。



日本共産党 狛江市議員

宮坂 良子



狛江団地建替え～安心して移転できるよう支援を

質問 ①高齢、障がいなど移転困難な方の団地内空き室への入居を市からも要請を②荷作りできない、エレベーターがない、業者に依頼では高くなる。移転料17万千円から増額を③移転料の事前支給を都に求めている。

回答 ①移転は都が適切な対応をするものと認識。意見は都に伝える②都は通常の移転に必要な額とのこと。意見は都に伝える③都で判断される。意見は都に伝える。

「こども誰でも通園制度」*4 来年実施にあたって

質問 この制度は専門性が求められる。①保育者の人員配置基準は②市としての実施内容と課題は③基準・保育単価の引き上げ、保育士の処遇改善が求められる。環境改善を含め、どのように進めていこうとしているか。

回答 ①0歳児は3人、1～2歳児は6人につき1人以上②居室の確保や他制度との併用による事務負担の増加など③安全に保育ができるよう状況を見ていく。



自由民主党・明政クラブ

石井 功



狛江市かわまちづくり計画について

質問 ①堤防を広げたカフェスペースや階段状のテラスも設計に加えられるのか②以前、多摩川で貸ボートの営業が行われていたが、復活させることは可能か③多摩川の水質は子どもが入っても問題ないレベルか。

回答 ①狛江市かわまちづくり計画に盛り込んでいる②必要な法手続を行うことで可能③環境基準値を下回っているが、水浴場ではないため自己責任が前提となる。

震災への備え

質問 ①市内在住の被災建築物応急危険度判定員*3との連絡等は行われているのか②建築物が全壊、半壊に認定された場合、固定資産税はどのようになるのか。

回答 ①現時点では実施していないが、他市の事例を参考に検討する②発災直後に迎える納期から減免の対象となる。減免の割合は罹災証明書の罹災区分に応じて決定される。



自由民主党・明政クラブ

山田 みちこ



南部地域の発展について

質問 ①水道道路拡幅により期待される効果②公園の使い方のわからない運動遊具の説明をHPへ掲載して欲しい③多摩川堤防土手街路灯の設置実験の内容は。

回答 ①安全性向上、良好な景観創出、緊急車両のアクセス向上、地域の防災性向上などについて都より説明②他市の事例を参考に調査研究③ソーラパネル式のポールライト等を仮設置し、照度や点灯継続時間等を確認。

子どもの貧困と虫歯・ボランティア活動証明書

質問 ①子どもの虫歯の状態によって、学校歯科医と専門機関との連携が必要では②ボランティア活動証明書は入試、就職等で大変有効。他市を参考に取組の検討を。

回答 ①学校歯科医からの情報をもとに、スクールソーシャルワーカー等と連携し、必要な支援につなげる②モチベーション向上や公益活動への意識を高めるきっかけになるので、他自治体の取組を研究する。



自由民主党・明政クラブ

栗山 欽行



未来を見据えた教育環境の整備について

質問 ①子どもに読書機会を増やすことは教育的効果を向上させる。配本増など今後の考えは②更なる幼保小の連携強化が必要。現状と対応は③時代の変化に対応した学校の適正規模・配置が不可欠、議論の進捗状況は。

回答 ①従来の取組を分析評価し進める②スタートカリキュラムの効果増進のため、学校間での情報共有が必要③狛江市魅力ある学校づくり推進連絡協議会を設置予定。

地域特性を活かした温暖化防止対策について

質問 ①気候変動に備えた計画的な適応策の推進、どのような対応をとるのか②都市計画道路の遮熱舗装の採用、慈恵医大第三病院への遮熱・保水性舗装の働きかけ等地域特性を活かした温暖化防止対策が必要。市長の見解は。

回答 ①壁面緑化、屋上緑化、緑のカーテンの設置推進、クールシェアの推進②重要な論点として受け止め、市としてどのような取組ができるのか調査研究する。



自由民主党・明政クラブ

小木 哲朗



災害から市民の命を守る対応基準と情報発信

質問 ①災害が予期される場合、保育園で安全を確保する対応基準を作ってほしい②コマラジとの連携強化を。

回答 ①作成する②市民の命を守るため、情報発信事業者等と連携を図りたい。

生活道路の交通安全対策にビッグデータを

質問 ①ETC 2.0*で収集されるビッグデータの活用実績②自転車を取り締まり強化への市の対応。

回答 ①狛江駅南口の小田急線側道の交通状況把握②交通ルールの周知、意識啓発を継続。

休止中の市民食堂の今後

質問 ①来年9月以降、食堂を再開するのか②隣接した新しい市民センターでの飲食の可否。

回答 ①まず現在休止中の事業者意向を伺う②フリースペースの一部等で飲食できるよう関係部署で協議中。



分かりやすい政治を伝える・維新の会

三宅 まこと



狛江市まるごと、地域共生社会の実現へ

質問

①重層的支援体制整備事業※5に対応する分野を跨いだ協働や支援体制づくり、今後、目指すべき市の取組は②金融機関から福祉に繋ぐ、連携いただくことも、狛江市らしい多機関協働のひとつと捉えるが、市の見解は。

回答

①分野横断的支援体制を整えてきているが、支援会議等を有機的に機能させるため、幅広い支援者に参加いただく②福祉のつなぐシートの活用を金融機関へ拡大。



こまえみらいテラス11月オープンに向けての確認

質問

来秋に市民食堂機能が復活する際、飲食可能な公民館機能という側面を鑑み映像機器の設置をお願いしたい。

回答

市民食堂スペースに映像機器を設置する際は、食堂運営のみの使用だけでなく、市の事業やイベントなど、こまえみらいテラス等を含めた多くの方に享受いただけるような方策を検討する必要があると考える。

用語解説

※1 キタコンDX

「東京都帰宅困難者対策オペレーションシステム」の通称。首都直下地震等の発災時に、帰宅困難者に対しての情報発信や被災情報を可視化する機能等をもつ。

※2 こまなび

市民等の生涯学習活動を推進するために団体の活動情報を取りまとめたガイドブック。令和6年度で電子版含むサービスが終了。

※3 被災建築物応急危険度判定員

東京防災ボランティア制度に基づき、災害時にボランティアとして協力が可能な民間建築士により登録された専門員。被災した建築物を外観調査し、倒壊や付属設備の転倒などの危険性の判定を行う。

※4 こども誰でも通園制度

子どもの成長と子育て環境の支援を目的とし、保護者の就労要件を問わず、未就園児が月一定時間まで保育所などを利用できる制度。令和8年度実施予定。

※5 重層的支援体制整備事業

子ども・障がい・高齢・生活困窮などの分野別の支援体制では対応しきれない課題に対して、分野を横断し包括的な支援体制を整備する事業。

紙面の関係上、掲載できない用語(★)については、過去掲載した用語とあわせてホームページに掲載しております。



狛江市議会公明党

石川 和広



若者、高齢者、障がい者支援の充実に向けて

質問

①24時間365日の相談を可能にするオンラインでの若者相談窓口を開設できないか②終活に関する相談会の開催に対する市の考えは③遠隔手話通訳サービスの日常生活での活用へ、無償提供を検討できないか。

回答

①他自治体の取組を参考に検討②身近な場所等での定期的な開催が求められていると認識③優先順位をつけて各種情報保障サービスの充実を図る。



まちづくりと公共施設整備の新たな展開に向けて

質問

①地区計画に基づく慈恵医科大学再整備の現況と今後の予定は②(仮称)西和泉スポーツ施設に設置していく機能は③こまえみらいテラスの運用のビジョンは。

回答

①令和7年9月末竣工。令和8年1月リニューアルオープン予定②室内温水プールや体育館、学童スペース、高齢者支援、防災倉庫など③市民及び利用者とともに進める利用しやすい環境づくり。



分かりやすい政治を伝える・維新の会

きたみ まさし



太陽光発電の現状と課題について

質問

①最新動向を踏まえた市の太陽光発電に関する将来像②ゼロカーボンへの取組の中長期のロードマップは。

回答

①太陽光発電を柱と位置づけたゼロカーボンシティの実現②2030年度54%減、2050年度実質ゼロ。



狛江のマナーを日本一にしていこう

質問

①狛江市ナッジチームについて②おしチャリプロジェクトの決定過程③ポイ捨て対策などでナッジの利用は。

回答

①ナッジ理論★・デザイン思考を研究する自主研究チーム②南北通路での交通量調査、インタビュー等③可能。



ステラーダイカイギュウ*を狛江の宝物に

質問

①ステラーダイカイギュウを扱った出版物②展示コーナーの企画は可能か③発見地点に看板の設置は可能か。

回答

①『新狛江市史』通史編、同普及版に掲載②パネル展示等は検討可③水辺の楽校案内板更新時に検討。



狛江市議会公明党

小野寺 克己



デジタル地域ポイント「こまポ」の推進について

質問

将来的に他自治体との連携や広域利用を可能にする構想はあるのかなど、将来の展望について伺う。

回答

採択事業は地域課題解決の取組を横展開するものとなっており、東京都と連携し横展開を図っていききたい。



法改正による自転車の歩道通行規制について

質問

自転車の飛び出しが多いと思われる箇所に、注意看板や路面への自転車停止マークの設置について伺う。

回答

通学路合同点検、市民からの要望、事故リスクの情報等を総合的に勘案して設置検討。



ホームページにやさしい日本語変換機能導入を

質問

災害情報や生活情報など一部のページから試験的に導入し効果を検証することについて伺う。

回答

試行を含めて情報発信の強化、改善につながる取組を引き続き検討していく。



狛江市議会公明党

佐々木 貴史



安全・安心なまちづくりについて

質問

①特殊詐欺撲滅に向け全市民に対し注意喚起の封書の送付を②道路陥没対策で道路下の空洞調査の実施を。

回答

①様々な機会を捉え、引続き対策を講じていく②前回調査からの時間経過もあり、今後の調査を検討。



市民要望の実現に向けて

質問

①喫煙所は喜多見駅を参考に密閉式喫煙所の設置を②リチウムイオン電池の適正な処理の周知徹底を。

回答

①より良い地域環境のため近隣自治体の事例を調査研究する②引続き様々な媒体を通じて、丁寧に周知する。



狛江駅前のほこみちについて

質問

狛江駅構内と南北通路の工事について現在進められているが整備工事の完成後のイメージについて伺う。

回答

小田急S Cディベロップメントと連携して駅構内と南北通路の一部エリアに催事スペースを設置。



日本共産党狛江市議員

荒木 てつ



市民参加と市民協働の推進に関する基本条例

質問

今回の狛江市の市民参加と市民協働の推進に関する基本条例の基本的な考え方第5条第1項第4号【解説】の見直しで、「施設の設置に係る基本計画～含めることとしたものである」の部分はなぜ削除したのか。

回答

前提となる地方自治法の規定を踏まえた考え方を補足したことに伴い文章全体の整理をした。



視覚障がい者の支援について

質問

この先近々の市内の交差点の音響信号機の設置・増設の進捗状況について伺う。

回答

調布警察署によると、狛江市総合体育館前交差点の信号機は設置済みで9月末頃から運用予定。東和泉三丁目、上和泉地域センター前交差点の信号機で設置予定。



狛江市議会公明党

山田 幸子



犯罪被害者の方が安心して暮らせる社会を

質問

①市の犯罪被害者支援は②都の犯罪被害者等の実態に関する調査報告書への印象は③今後の取組は。

回答

①特段ない②相談窓口や支援制度の周知が必要③都制度の周知、都内自治体の取組を情報共有する。



子どもの命と健康を守るために

質問

①オーバードーズの認識は②悩みを抱える子どもへ学校の取組は③HPV感染症予防促進への取組を。

回答

①社会的孤立という共通項を認識②SOSの出し方に関する教育を実施③自分の事と考えるように指導を工夫。



義務教育における無償化の取組について

質問

インバウンドで修学旅行等に影響があるのか課題と方向性は(修学旅行等に係る補助金の見直しを要望)。

回答

宿泊行事の目的を踏まえ、教育効果を高める。引続き保護者負担に配慮し、実施内容等を検討。



TOPICS

期日前投票所

市議会って足を踏み入れにくい…訪れにくい…そんなイメージがありませんか？実はあなたは既に狛江市議会を訪れているかも？

狛江市では期日前投票所として狛江市議会が使用されています。

皆さんは期日前投票を利用されたことはありますか？平成15年以前の不在者投票制度では、投票日当日に公務などがある場合に限り投票する事ができましたが、現在はレジャーなどを含め当日投票できない方は誰でも気軽に投票できるように改められました。

先日の参議院議員選挙では1万8千人を超える狛江市民が期日前投票に訪れ、有権者の4人に1人、投票された方の約4割が利用されており、制度が広く浸透していることが伺えます。

そんな期日前投票所は、なんと狛江市議会の第一委員会室なのです！

つまり、期日前投票に来られた方は既に狛江市議会を訪れています。会期中は気軽に議会議堂を傍聴することができますので、巻末の次回定例会の予定をご覧の上、是非お越しください。

投票はより良い社会を作るための第一歩であり、国民一人ひとりに与えられた権利です。期日前投票をきっかけに、会場である市議会にも興味を持って頂けると幸いです。

通常、他の自治体などの視察受け入れや各種会議に使われています。



入場整理券記載スペース



期日前投票所

議員の

活動レポート

第63回

東京河川改修促進連盟

総会及び促進大会



第63回東京河川改修促進大会が、8月7日に調布市グリーンホールで行われました。

狛江市は東京河川改修促進連盟構成自治体38市区町村のうち、10市で構成されるCブロックに所属し、今回はCブロックの代表として、建設環境常任委員会委員長の山田幸子議員が以下の意見発表を行いました。

意見発表を行う山田幸子議員



地球温暖化の影響で気候変動による風水害の激甚化・頻発化が懸念されていることから、治水対策や河川政策の重要性を訴え、各河川別の計画による整備の促進と、集中豪雨による洪水災害の防止を図り、自然環境や生態系に配慮したかわづりを早期に実現していただきたい。

引き続き狛江市議会として河川の氾濫、溢水による災害から市民の身体・生命・財産を守るために、努めてまいります。

東京河川改修促進連盟とは・・・

東京都内の河川の氾濫、溢水による災害を防除して住民の福祉を増進するため、これら河川改修事業の早期達成を国や東京都に対して要望し、その実現に協力することを目的として結成されたもので、現在14区、21市、2町、1村で構成されています。



さとみ
ひらい 里美

無党派

困りごとは個人の問題ではなく社会のしくみの問題です。共に変えていく「住民自治」を大切にしています。

一問一答

議員として最も大切にしていることは何ですか？



たかぎ
高木 さとこ

無党派

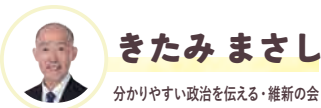
問題の根っこにある社会的な課題を見出すために、多方面から話を聴くことを心がけるようにしています。



よしの よしこ
吉野 芳子

無党派

「元気であること」を心がけています。いつでもどこでも、気軽に声をかけていただければうれしいです！



きたみ まさし

分かりやすい政治を伝える・維新の会

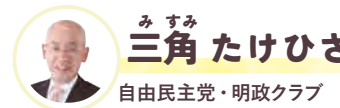
国家公務員と地方公務員をそれぞれ10年勤めた経験から、文句を言うだけではなく必ず解決策を示していくこと。



みやけ まこと
三宅 まこと

分かりやすい政治を伝える・維新の会

市民の皆さんからとつきにくいと思われる政治や行政の動きを、できるだけ分かりやすくお伝えすること。



みすみ たけひさ
三角 たけひさ

自由民主党・明政クラブ

「市民が何を望んでいるのか敏感になること」ここは自分の思いを貫く場所ではなく、「人の思いを貫く場所」。



おぎ てつろう
小木 哲朗

自由民主党・明政クラブ

市民目線で課題に挑み、必ず解決へ導く姿勢を貫きます。



やまだ みちこ
山田 みちこ

自由民主党・明政クラブ

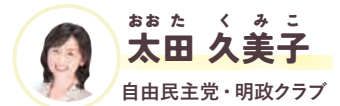
女性・母親の視点で子どもの安心と未来を守り子育て世代に寄り添う。誰もが住みやすく幸せになれるまちづくり。



しの こうじ
しの 浩司

自由民主党・明政クラブ

対話と丁寧な説明。そしてそこから生まれる相互理解。



おおた くみこ
太田 久美子

自由民主党・明政クラブ

まちの問題・課題を解決するため「自分で調べ」「自分で考え」「自分で構想」する作業を積み重ねることです。



あらか てつ
荒木 てつ

日本共産党狛江市議員

困っている人、苦しんでいる人、悩んでいる人に寄り添い、少しでも助けになること。



おかむら しん
岡村 しん

日本共産党狛江市議員

まず、現場です。直接お話を伺い、市の考えも聞きながら、市民の皆さんと解決策を考え提案すること。



みやさか よしこ
宮坂 良子

日本共産党狛江市議員

小さな困りごとにも寄り添い一緒に解決していくこと。すべて人の命やくらし、人権が守られる社会にしたい。



にしむら あつ子
西村 あつ子

日本共産党狛江市議員

皆さんの声を市に届け、困りごと解決に尽力する。新人議員の頃、相談が解決。安心した笑顔が忘れられません。



おの であ かつき
小野寺 克己

狛江市議会公明党

常に誠実な対応を心がけています。また、常に学び続けることと、多くの人と会うことを大切にしています。



いしかわ かずひろ
石川 和広

狛江市議会公明党

伝える為の「話す力」理解の為の「聴く力」現場主義の「動く力」研鑽重ねる「学ぶ力」さらに精進「進む力」。



やまだ さちこ
山田 幸子

狛江市議会公明党

「健康第一」を心がけています。市民の皆さまのご相談対応や街頭活動など、体力は必要です。



ささき たかし
佐々木 貴史

狛江市議会公明党

ひとりの人を大切に、その人の笑顔のために。



つじむら ともこ
辻村 ともこ

自由民主党・明政クラブ

日本の未来を地域から創る気概と覚悟。コツコツ諦めずに調査研究し市民一人ひとりの幸せに繋げることです。



やたべ かずゆき
谷田部 かずゆき

自由民主党・明政クラブ

パフォーマンスを最大限に発揮できる心(精神を磨く)・技(技術を訓練)・体(身体を鍛える)ことです。



くりやま よしき
栗山 欽行

自由民主党・明政クラブ

座右の銘「自治三訣」を旨に議員活動を行うこと。加えて、現場主義の徹底に基づく政策推進に努めること。



いし いさお
石井 功

自由民主党・明政クラブ

狛江のまちのために働くこと。とくに地域の人の信頼を得ること。

令和7年第4回定例会（予定）

| SUN | MON | TUE | WED | THU | FRI | SAT |
|-----------------|------------------|-----|---------------------|-------------------|---------------------|-----|
| 11/23 勤労感謝の日 | 24 振替休日 | 25 | 26 本会議 初日 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | 12/1 | 2 | 3 本会議 一般質問 | 4 本会議 一般質問 | 5 本会議 一般質問 | 6 |
| 7 | 8 本会議 一般質問 | 9 | 10 総務文教 常任委員会 | 11 社会 常任委員会 | 12 建設環境 常任委員会 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 議会 運営委員会 | 20 |
| 21 | 22 本会議 最終日 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |

WEBアンケート募集中

WEBアンケートを募集しています。誌面作りの参考にさせていただきますので皆さんの方々からのご意見をお待ちしています！



回答期日 **12月11日** 木

狛江市議会Facebookアカウント

<https://www.facebook.com/KomaeCityAssembly/>



編集 議会運営委員会 発行 狛江市議会

〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5
TEL.03(3430)1111(代表) 03(3430)1128(直通)
ホームページ <https://www.city.komae.tokyo.jp/index.cfm/49.html>

※開会時間はいずれも午前9時の予定です。都合により、日程が変更になる可能性があります。
請願・陳情の締め切り 1回目：11月17日(月)、2回目：12月15日(月)午後5時までに議会事務局へご持参ください。